

第4回特別展

サハリンの 先住民の 精神世界



平成4年7月21日(火)～8月23日(日)

開館時間 9時30分～16時30分 休館日 月曜日

特別展観覧料

一般 250 (200) 円 高校生・大学生 80 (50) 円 小学生・中学生 50 (30) 円 * かつこ内は10人以上の団体の場合

常設展示観覧料

一般 250 (200) 円 高校生・大学生 80 (50) 円 小学生・中学生 50 (30) 円

* かつこ内は10人以上の団体の場合



北海道立北方民族博物館

Hokkaido Museum of Northern Peoples

〒093 北海道網走市字潮見313-1

☎ 0152-45-3888



クマ送りの装束をつけたクマ／サハリン・アイヌ

サハリン 先住民の 精神世界

サハリンにはウイльта、ニブフ、サハリン・アイヌなどの民族が狩猟、漁撈、採集、トナカイ飼育をしてきました。北方にくらす人びとは、自然のなかで生きていくために、自然界を支配するものとの友好関係を保つ必要があると考えていました。このような信仰から、シャマン（精霊や神霊と接触し、予言や病氣治療を行うひと）のこゝばに従ったり、動物界を支配するものに対するクマ送りなどの儀礼がおこなわれてきました。死者をめぐる儀礼には来世観があらわれています。今回の特別展では、シャマニズム、クマ送りを中心にサハリン先住民の精神世界を紹介します。

シャマンの太鼓、儀礼具などおよそ140点の資料、写真パネルを展示。ビデオコーナーではシャマンの映像を上映。

ウイльтаはオロッコ、ニブフはギリヤークと、従来よばれてきました。

特別展の開催にあたりまして下記の機関に協力をいただきました。

財団法人アイヌ民族博物館 市立旭川郷土博物館
資料館ジャッカ・ドフニ



シャマンの衣装と太鼓

／ウイльта



木偶／ウイльта

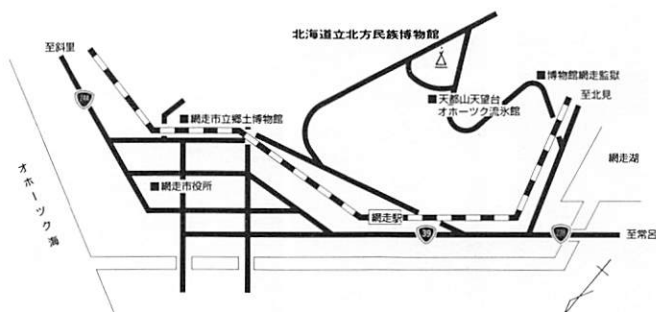
講演会

7月26日(日) 午後2時から当館講堂にて

『北東アジアの民族形成の諸問題
ーアレクセーエフの見解にもとづいてー』

講師 加藤 九 祚 氏

(創価大学教授・国立民族学博物館名誉教授)



JR網走駅より約5km
網走バス天都山線(道立北方民族博物館前下車)